

## 知床五湖におけるヒグマの行動調査

### 1. 目的

知床五湖モニタリング実施計画に基づき、直接観察では得られないヒグマの行動や活動時間などの利用状況を経年的にモニタリングするため、自動撮影カメラを用いた調査を実施した。本調査はモニタリング項目「①ヒグマの行動と遭遇状況」に対応している。

### 2. 調査手法

調査は自動撮影カメラ（以下、カメラ）を使用して実施した（写真 1）。カメラの設置地点は、2021 年の調査と比較するため、昨年と同様の地点に計 7 箇所とした（図 1）。



写真 1 使用した自動撮影カメラ (Ltl Acorn Ltl-6210MC)

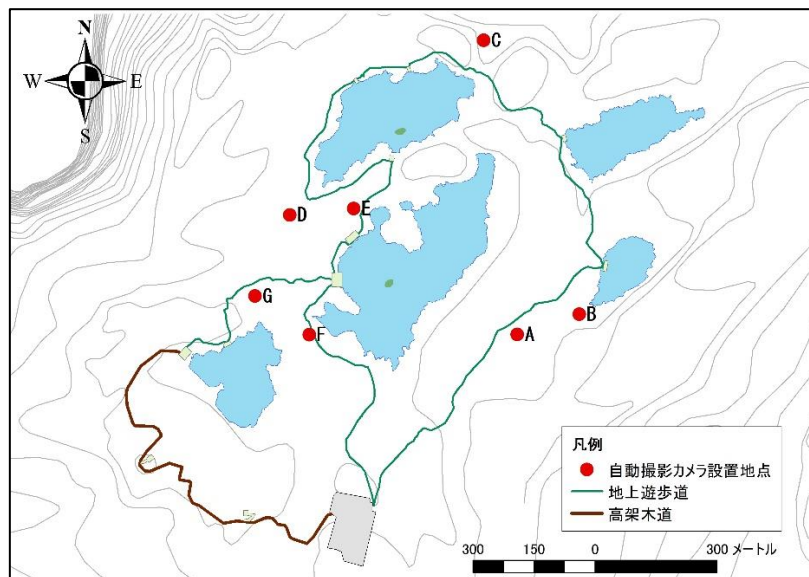


図 1 自動撮影カメラ設置地点の地図

### 3. 調査結果

#### (1) カメラの運用結果

カメラ設置期間撮影日数は延べ1,468日、撮影回数は14,648回であった(表1)。設置地点Bにおいて、6/28～7/25にカメラのレンズにクモの巣が付着し、撮影された画像が不鮮明となった。

表1 自動撮影カメラの設置日数と撮影回数

設置地点名	2022年の撮影期間		撮影日数(日)	撮影回数	備考
	開始日	終了日			
A	4/15	11/11	211	1399	
B	4/18	11/11	208	3963	6/28～7/25のデータが不鮮明
C	4/18	11/11	208	773	
D	4/18	11/11	208	4570	
E	4/15	11/11	211	529	
F	4/15	11/11	211	1460	
G	4/15	11/11	211	1954	
合計			1468	14648	

有効データとして「ヒグマ、エゾシカ、希少鳥獣、外来種、利用者、その他(中型・小型哺乳類及び鳥類)」の6つに区分にしてとりまとめた。センサー誤作動で撮影された画像は無効データとした(表2)。ヒグマの撮影回数は152回であった。また、今年はその他に分類されたエゾクロテンの撮影回数が多かった(写真2)。

表2 有効データの区分別撮影回数内訳

区分別内訳 <sup>*1</sup>	A	B	C	D	E	F	G	合計
ヒグマ	14	40	5	62	16	9	6	152
エゾシカ	622	514	181	1,741	323	249	929	4,559
希少鳥獣	0	0	0	0	0	0	0	0
外来生物	0	0	0	0	0	0	0	0
その他 <sup>*2</sup>	4	11	5	26	4	1	20	71
合計	640	565	191	1,829	343	259	955	4,782

\*1 無効データを除外

\*2 中型・小型哺乳類及び鳥類はその他に分類



写真2 撮影されたエゾクロテン(トリミング表示)

## (2) ヒグマの撮影について

以下より、データの重複を防ぐため、同地点で5分以内に連続して撮影された同一個体と思われるヒグマは重複撮影とみなした。

各地点のヒグマの月別撮影回数は、計 53 回であった。ヒグマ活動期である 6、7 月の撮影回数が多くなる傾向となった。8 月に撮影回数がいったん落ち込むが、9、10 月に撮影回数が向上した。また昨年と比べ、今年は全体的に撮影回数が増加した。今年の秋は堅果類が豊作であったため、9、10 月の撮影回数が多かったと考えられる。

表 3 ヒグマの月別撮影回数\*

	A	B	C	D	E	F	G	合計
4月	0	1	0	0	0	0	0	1
5月	0	0	0	0	0	0	1	1
6月	4	2	2	3	2	1	1	15
7月	2	3	1	5	1	1	0	13
8月	0	0	0	2	2	0	1	5
9月	0	0	0	2	7	0	0	9
10月	0	2	2	0	1	1	3	9
11月	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	6	8	5	12	13	3	6	53

\*重複撮影があるため、有効データの区分別撮影回数と値が一致しない。

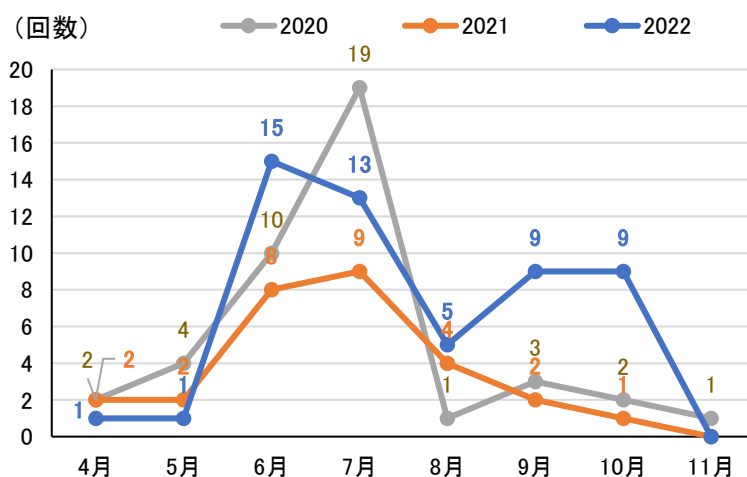


図 2 ヒグマの月別撮影回数の年比較

ヒグマの撮影回数は、目撃件数（113 件）より少なかった。しかし知床五湖地上遊歩道において最初にヒグマを確認したのはカメラでの撮影であった。大ループは、4/27 まで積雪によりコースを閉鎖していたため、4 月の目撃件数が低くなる傾向になると考えられる。

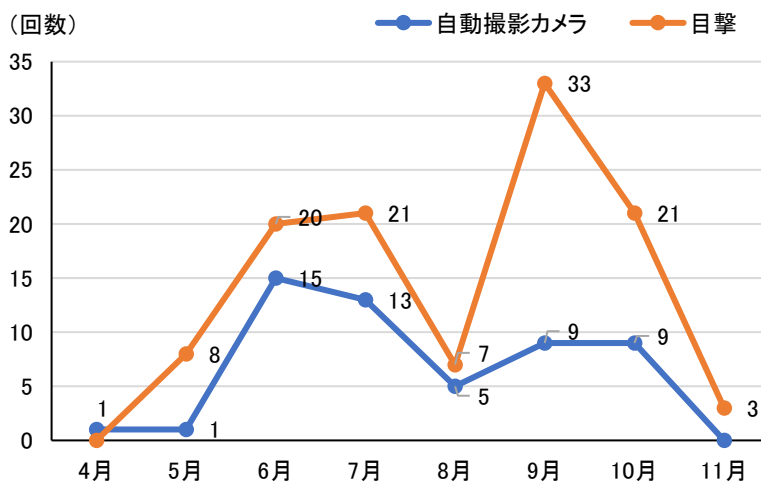


図 3 ヒグマの月別撮影回数と目撃件数

撮影されたヒグマの構成の中でメス成獣クラスは半分ほどを占めている。他のクラスでは 2022 年でオス成獣クラスが 11.3%、亜成獣クラスが 20.8%、親子が 5.7%であった。2021 年に比べ、オス成獣クラスや亜成獣クラスの撮影回数が大幅に増えた一方、親子の撮影回数が減少した。

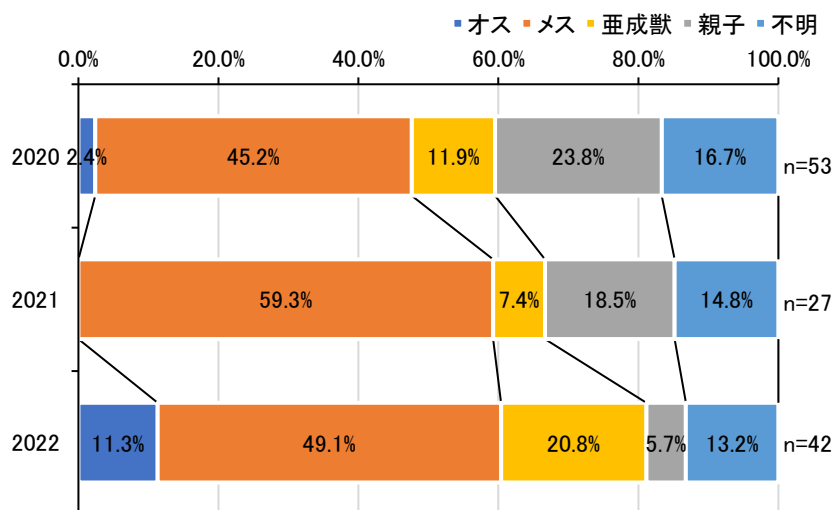


図 4 カメラで撮影されたヒグマの構成比